

# 水之上生活笑楽校ではずみを

－三和づくり計画の推進－

垂水市水之上地区公民館主事 中馬 英機

## 1. 水之上の概況

水之上の地区は、本城川（県の2級河川）と広い田園を囲むように、19の集落が点在し、世帯数は837、人口1742人（住民基本台帳H26年11月末現在）の農村地帯です。垂水の中央地区より高隈山側の東部に位置し、山・川・田んぼの自然豊かで人情味のある地域です。（写真1）



水之上の田んぼ（写真1）

水之上で大きな行事としては、4月の女男河原祭り（おんだんこら祭り）、7月の本城川堤防の草払い、六月灯、11月の手貫神社の豊年祭があります。女男河原祭りは、高隈山系の中の白山にある神社のお祭で300年以上以前から



女男河原祭り（写真2）

水之上に伝わる伝統行事で、昔は、4月4日に行われていました。昭和50年頃から現在の地区公民館の（三和センター）グラウンドに会場が作られ、4月の第1日曜日に行われ、白山神社の祭典に引き続き市内の郷土芸能を中心とした演芸や出店、木市、農機具展示があり、市内各地からたくさんの人々が来訪する市最大の伝統行事です（写真2）。

7月の第1日曜日に地区内全集落が参加して行われる、本城川の堤防の草払いは、長いこと続いている一大行事であり、県や国からも河川愛護活動として評価され、表彰されています。年々、地域住民の高齢化により参加者が減少しているのが気かりな点ではありますが、本城川を愛する地域の人々の心が活動を支えていると思われます（写真3）。



本城川堤防の草払い（写真3）

7月19日の六月灯と11月3日（文化の日）の手貫神社の豊年祭は、校区の昔から心の寄りどころとして、子供から大人まで大切に守られている行事であります。豊年祭は、現在では児童数も減少し、小学生の子供相撲もにぎやかさが減ってきましたが、昔は中学生も平日（昔は11月2日に実施されていた）に参加したり、午後からは青年・大人の人が夕方まで相撲をとって盛り上がったものでした。六月灯も、小学生や保育園の灯籠を出品し、境内に展示するのは現在も続いています（写真4）。このように、昔から続いている伝統行事を脈々と続けるなかで、校区民の心の



手貫神社（写真 4）

寄りどころとして、女男河原祭りや六月灯・豊年祭が続けられています。

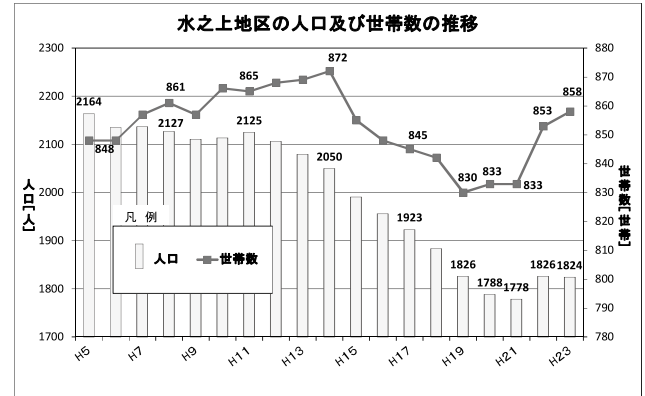
又、高城にある勝軍地蔵は垂水市で唯一の鹿児島県指定の文化財であり、最も古い木造の地蔵です。平成 18 年 11 月には開眼 500 年祭の行事が行われました（写真 5）。



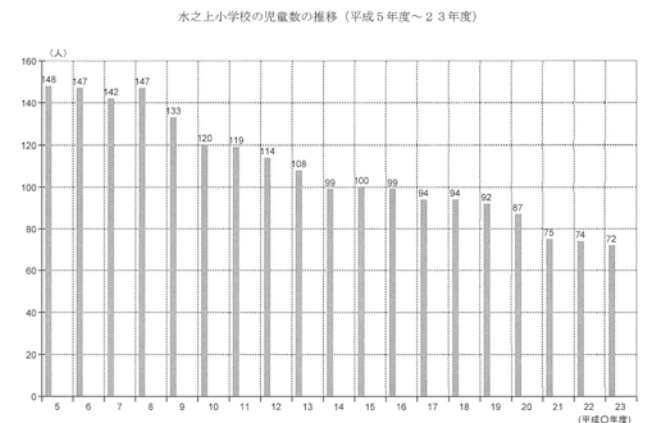
勝軍地蔵（有形文化財彫刻）  
県下最古級の木仏像（写真 5）

又、水之上では広い田んぼに稲や園芸、温州みかんやボンカンの果樹、畜産が盛んに行われていますが、全国各地の農村同様、高齢化や後継者不足が顕著であり生産力の低下や耕作放棄地の心配等課題も深刻です。そのような中で水之上の農業の将来を考え、農作業の受託や農業機械の共同利用を中心に取り組む組織として「垂水市水之上地区三和営農組合」が平成 23 年 7 月に設立されました。平成 24 年度から稲の刈り入れ脱穀・乾燥等の受託作業の取り組みと、25 年度からは、稲の後の裏作として菜種づくりを市農林課の指導・助言の下、取り組み始めました。

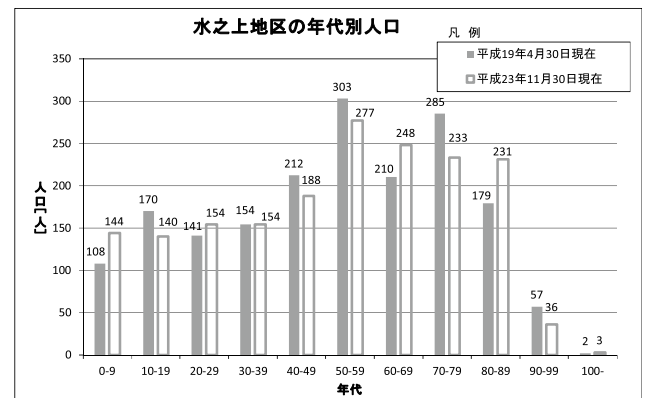
地区の直近の集落・世帯数・人口は最初に述べましたが、地区の人口・世帯数・水之上小学校の児童数の推移は以下の図の通りです。



①人口・世帯数（図 1）



②水之上小の児童数の推移（図 2）



③地区内の年代別の人口（図 3）

## 2. 地域づくり計画の取り組み

平成23年5月に、市の企画課より地域づくり計画策定の話があり「10年後の水之上はこうありたい」という計画を地域住民によって、計画を策定するというものでありました。

垂水市では、21年、22年の2ヶ年にわたって大野地区が市内で初めての地域づくり計画を策定しました。市内9公民館の中で2番目の取り組みとなります。5月から8月にかけて、地区公民館の役員会、全体会に諮り、了承してもらい、9月から月2回のペースで10回の策定委員会を開くという計画で始めることになりました。

1月終わりには、計画ができ上がる予定でしたが、途中で作業が遅れ、2回会議も増え、完成も3月にずれ込むことになりました。策定委員の協力、企画課の協力的な指導・助言、途中と最後に鹿大・小栗先生の指導のもと、ようやく「三和づくり計画」の報告会を開催する運びとなりました（巻末図A）。

### 策定にあたって

地域づくり計画策定にあたっては、地域住民の意思やアイディアを取り入れるために、平成23年9月に、校区内全世帯にアンケートを実施しました。

アンケートの実施にあたり、住民の皆さんにアンケートの主旨をよく理解してもらうために、各集落の振興会長さん方の会を開き、世帯主に説明をしてから用紙を配り、答えを書いてもらい、振興会長が収集することとしました（図4）。

アンケートで寄せられた意見やアイディアは231にのぼりました。意見・アイディア全てを記録した資料を計画書の「別冊」として作成し、「三和づくり計画書」と共に地区内全戸に配布することとしました。

策定委員は、平成23年度の公民館役員を策定委員にお願いし、4つある専門委員を3つの小委員会に再編成して、委員になってもらいました。

策定委員会の第2回～第5回までにアンケートを分析し、整理・絞り込みの結果、22の項目に大きく分析し、行動計画としてまとめました。第9回～10回では、市役所の関係課長も同席した中で、計画を補強してもらい、11

回目で計画書を仕上げました。以下、8つの項目について、キーワード、水之上はこうありたい、誰が、いつ、何をするというようにまとめた行動計画を紹介します（巻末図B）。

#### (1) アンケートの実施と結果

<b>力を合わせ 行動を起こそう 住みよい水之上を目指して</b>		平成23年度水之上地区公民館（三和センター）総会資料より、「目標」
水之上地区にお住まいのみなさまへ		平成23年9月17日
水之上地区公民館長 「三和づくり計画」策定委員会委員長		
「三和づくり計画」へのご意見・アイデア募集アンケートにご協力ください		
時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。 わたしたち水之上地区は今年度、これからの地域づくりの考え方として、今後10年間の計画書をつくるため、「三和づくり計画」と名付けて計画づくりに取り組んでいます。 そこで、 <b>地区が抱える課題や将来のこと、あるいは子や孫たちに残したい水之上を地区のみなさんといっしょに考えるには多くの声が必要</b> と考え、地域づくりに関する意見やアイデアをアンケートのかたちで募集することとしました。農業者の方々については平成22年度に「農業に関するアンケート」にご協力いただきましたが、農業の分野にかぎらず、 <b>福祉や教育、産業、住環境などすべての分野でご意見等を募集します</b> 。 お忙しいところ恐縮ですが、以下、裏面の記入例をご参照の上、ご回答くださいますようお願い申し上げます。		
<b>○ 募集するご意見やアイデアの内容：今の水之上をどうしたいか・10年後の水之上はどうありたいか（裏面をご覧ください）</b>		
<b>○ 提出先：別紙アンケート用紙に記入して、「この封筒に入れて振興会長宅へご提出ください」</b>		
<b>○ 募集の期限：平成23年9月30日（金）</b>		
集まった意見はその後どうなるのか		
みなさんが考えた「水之上のありたい姿」を実現するために、 ● 自分たちは何ができるか、地区として行政に対し何を要望するか、 ● いつ、どのように行動を起こすのか、 などについて、「三和づくり計画」策定委員会のメンバーを中心に話し合いを持ち、アンケートに寄せられたご意見等を反映させながら、これからの「三和づくり」について計画を練っていきます。		
【お問い合わせ先】 ○「三和づくり計画」策定委員会事務局 水之上地区公民館 ☎32-1597 ○垂水市役所 企画課地域政策係 担当者：西川（さいかわ） ☎32-1143 ファックス 32-6625		

アンケート様式（図4）

## 3. 生活笑楽校のはじまり

### (1) 取り組むことになった経緯

平成23年度に取り組んだ「三和づくり計画」は年度末の3月によりやく完成し、4月の24年度公民館の総会で承諾され計画が確定しました。計画書は校区内の全戸に配布されました。計画に盛り込まれた項目の中には、すでに実施されつつあるものもあり、改めて取り組むものもありました。

平成24年度は計画の実施1年目として、とりあえず幾つかを挙げて取り組むことにしましたが、なかなか具体的な取り掛かりができず、年末を迎えてしまいました。そうした中で、計画をどうにか進めるためにはどうしたらよいかを、企画課の西川さんに相談しました。そして、水俣市

在住で地域おこしの取り組みをされ、各地で実績をあげておられる吉本哲郎先生に相談することになりました。暮も押し迫った12月25日、鹿児島中央駅付近で会うことになり、館長、主事、企画課の計画づくりに携わってきた西川さんと3人で出かけました。

公民館からの相談としては、①校区内の農産物の無人販売所を集約して共同販売所をつくりたい。②文化財・観光マップづくりを進めたい。の2点を最初に取り組みたいが、どうもうまく軌道に乗らないので、どのように進めたら良いかを相談しました。

そしたら、先生からいろいろときつい質問があり、予想外の展開になり、しどろもどろになりながら精一杯答えました。何故、地域づくりを始めるのか、本当に地域を盛り上げたい気持ちがあるのか、真剣に焦点を絞って、取り組もうとしているかを試されたのだと後で考え気が付きました。色々やり取りする中で、昼になり、昼食を食べて、結論が出ていなかったのも、再度、午前中に居た喫茶店にもどり、コーヒーを何杯も飲みながら、最後に出てきた答えが、「皆が盛り上がるのは、飲みながら語り合うことだ」という事になり、食べ物・飲み物を自分で持ち寄って『飲みながら、食べながら、語り合う会』をすればというのが長い長い話し合いの末に出された結論でした。相談したかった2つの解決策ではなく、飲み会を組み立てるという事になり、話し合いから開放された気持と、果して水之上でそのような会が成立するのだろうか、疑心暗鬼な気持ちで帰ってきました。会を1月20日（日）に開催するという日まで決まってしまう、年末の暮から、正月もずっと気になって気になって仕方がありませんでした（写真6）。



吉元先生との相談（写真6）

## （2）第1回目の生活笑楽校までの準備

### ① 前日までに行ったこと

まず、準備の中で取り組んだのがチラシづくりでした。校区内660世帯、全戸配布するという事で、どのような会の内容をアピールしたら良いかを公民館と企画課で話し合いました。食べ物、飲み物を持ち寄り、誰でも気兼ねなく参加できるような催しにすることとし、会の内容とチラシが決まりました。早速印刷し、振興会長さんを通じて、校区内全戸の配布に取り組みしました（図5）。

# 水之上の暮らしを楽しむ

## 水之上生活笑楽校

**日時：平成25年1月20日（日）10:30～14:00**  
**会場：水之上地区公民館（三和センター）**

- ★おうちの家庭料理や漬け物をみんなで食べて楽しむ三和センターの新しいイベントです
- ★お友だちどうして自由に参加してください
- ★ご家族づれ大歓迎
- ★はじめての取組なので、外部から地域づくりの先生方にもお越しいただけます
- ★飲み物の用意はありませんので、持ち込んでください！

☆13:00 からジャンケン大会も予定！（景品あり）

**お問い合わせ**  
**水之上地区公民館**  
**☎32-1597**

第1回チラシ（図5）

公民館のテーマである「力を会わせ 行動を起こそう 住みよい水之上を目指して」の幟旗も購入することにし、会場の雰囲気をもたげることになりました。

第1回目の「水之上の暮らしを楽しむ 水之上生活笑楽校」と名付けていよいよ期日が迫ってきました。前日の19日には、水俣の吉本先生も正午には会場の公民館に到着されました。宮崎県川南町役場職員の河野英樹さんも同席し

て下さり、三和づくり計画を進めるには、どんな取りかかりが良いかという話し合いの時間が設定されました。公民館からも役員や三和づくり計画策定委員会小委員長等、7～8名参加して、意見がはずみました。

せっかくの機会ということで、前夜祭を開くことになり、昼のメンバーが全員参加して、公民館の和室で急遽飲み会が始まりました。最初はとっつきにくかった吉本先生ともいろいろ話が盛り上がりました。川南町の河野さんも、夜の飲み会には参加し、翌日の早朝に水之上を出発し、川南町での「四季を食べる会」の準備に帰られました。

## ② 当日

当日はまず、会場をどのように設営すれば良いのか、見当がつかないまま準備が始まりました。企画課で準備してもらった、会場の正面にも飾る『水之上の暮らしを楽しむ 水之上生活笑楽校』の横幕をまず掲示しました。

会場の中央に長机を2つくっつけて、5つを並べ、テーブルクロスをかけ、両サイドに椅子をずらっと並べ、中央のテーブルを囲むようにしました。

又、公民館の玄関や公民館（通称：三和センター）入口に幟旗を立て、何か初めてのイベントが今から始まるという雰囲気が出てきました。会場はこうにして、一応の準備はできましたが、一番心配なのは、果して何人が会場に来られるのか、料理が集まるのかとても心配でなりませんでした。

そして、10時を過ぎる頃から人が少しずつ会場に来られるようになりました。それぞれ、料理の入れ物を工夫して来られています。時間が経過するにつれ、女性の方々が思っていた以上に参加して下さることにびっくりしました。

そして、水之上校区内ばかりでなく、垂水の中央地区の方も来て下さりととてもうれしく思いました。昼をはさんでの会でしたので、昼間に飲みながら食べて、語るという会が思った以上の人が参加して下さり、料理もほとんどダブることなく色々な料理が並び、皆さん喜んで食べておられました。後半に入り、会をさらに盛り上げるために準備したジャンケン大会に移りました。景品も焼酎や白菜、大根、水菜等の冬物野菜、みかんと沢山あり、大変盛況でした。又、ジャンケン大会の進行をされた神柱さんの名進行で大きな笑いの中で盛り上がりました。ジャンケン大会が終わって、どうしても皆さんに何か言いたい方はいませんかという事で、初めての試みの生活笑楽校についての感想や「次回はいつ頃の予定ですか」というところまでありました。私は

初めての会が、想像以上の参加があったこと、沢山の料理が集まったこと、会が大変盛り上がったことに感極まり、涙が出そうで声がつまりました。次回をいつするかの要望に対しては、「皆さんのご意見を聞きながら、いい時期をみて第2回目を開催したい」と答えました。最後に振興連会長の川畑さんの閉会のあいさつで終了しました（図6）。



第1回生活笑楽校（図6）

## (3) 第2回 生活笑楽校

### ① 開催時期について

平成21年度から、12月に公民館の役員（振興会長・婦人部長・運営委員等）でまとめて、合同忘年会を実施して、公民館の一年間の反省や課題等について話し合ったり、また市内の公民館で先進的な活動をしている他地区の公民館に合同忘年会に来てもらって、活動の状況を話してもらい、参考にできたらと思って実施しました。約1時間の会の後に忘年会に移ります。

そのような合同忘年会を過去4回実施しておりましたので、忘年会の時期をそのまま生かして12月の15日（日曜

日、夕方にかけて) 第2回目の生活笑学校を開催することにしました。川南町の「四季を食べる会」のようにはいかず、続けて冬に実施することになりました(図7)。

**第2回**

# 水之上の暮らしを楽しむ

しょうがっこう

## 水之上生活笑楽校!

**日時：平成25年12月15日(日)16:00~18:30**  
**会場：水之上地区公民館(三和センター)**

★好評につき、第2回生活笑楽校!を開催することになりました。  
 ★おうちの家庭料理や漬け物をみんなで食べて楽しむ三和センターのイベントです。  
 ★お友だちどうして自由に参加してください。  
 ★ご家族づれ大歓迎!  
 ★外部から地域づくりの先生方にもお越しいただく予定です。  
 ★飲み物の用意はありませんので、各自持ち込んでください!

☆ジャンケン大会、料理コンテストも予定!(景品あり)

**お問い合わせ**  
**水之上地区公民館**  
**☎32-1597**

第2回チラシ(図7)

## ② 2回目に向けた準備

2回目は、1回目と一緒に面白くないので、何か工夫しないと、という事で、開会の前に公民館の前庭で、垂水で古い歴史をもつ「垂水飛龍太鼓保存会」の皆さんに、開会の景気付けをしてもらい、太鼓が終わって2階の会場に移って会の始まりという形を取りました。飛龍太鼓のメンバーに、生活笑楽校を盛り上げてくださる方が3名おられるので、快く引き受け早速実現することができました。

2つ目に、生活笑楽校ですので会の流れを学校の校時表になぞらえて工夫してみました。ただ「食べて、飲んで、語って」というのではなく、1区切りの時間帯を「食飲会」の時間にし、もう1区切りを「食飲会議」の時間にしました。又、公民館長を「水之上生活笑楽校校長」とし、校長先生

が開会のあいさつを行うというようにしましたところ、参加者から大変好評を頂きました(図8)。又、2回目には、吉本先生の他に、川南町の役場から河野さん和他2人の3人が参加して下さり、参加者で喜び合いました。

第1回目は、会が始まるので、大変心配して開会を迎えましたが、吉本先生に「今日は、顔が強張った表情がない。参加者も増え、会が前回より盛り上がり良かったね」と言われ、嬉しかったです。人数的にも、1回目の46人に対し、54人と増えました。参加者が増えた要因には、企画課の皆さんの協力と援助があり、又、公民館の役員の方々の口添えがあり、参加者増に繋がったと思います(写真7)。



第2回生活笑楽校(写真7)

## (4) 川南町からの視察

生活笑学校の交流がきっかけで、河野さんが役場内で異動になり、町がかかえる大きな問題について、水之上地区公民館に視察に伺いたいという連絡が企画課からありました。1回目は10月2日(水)に、町内の区長さん方の視察で、副町長さん他19名が来られました。地域住民の方が、役場の下にある区の構成員に加入されずに、役場として大変困っておられるということで、垂水はほとんどが地区公民館(市内の小学校区ごとに公民館組織がある)に加入率は100%に近い加入率だと説明するとびっくりされていました。水之上の公民館の対応としましては、市役所から、企画課長、社会教育課長、企画課の西川さん、公民館から館長、振興連会長、副会長、書記、主事の5名が出席して色々な質問に対してお答えしました。川南町は、小学校単位の区割ではなく、町内が行政の連合組織として区の役割があるのですが、区の構成員は5割前後の加入率で、加入

第2回 水之上生活笑楽校の当日の流れ・係分担当表

予定時刻		係 名
15:50	太鼓の演奏	(橋本雅:飛龍太鼓)
16:00	① 開会のことば	(中馬英:公民館主事)
16:01	② 水之上生活笑楽校校長挨拶	(堀之内俊:公民館長)
16:06	③ 強食飲代表饗いのことば	(小畑日:婦人部長)
16:08	④ 生活笑楽校の本日の校時表の説明	(中馬英)
16:10	⑤ 1時間目【食 飲 会】 (米費祝辞)	
16:45	⑥ リポートの発表	リポーター1(神田) リポーター2(梅元) リポーター3(岡田幸)
17:00	⑦ 2時間目【食 飲 会 議】 (意見発表)	(神田利:振興連副会長)
17:45	⑧ ジャンケン・ビンゴゲーム大会	(川崎三:飛龍太鼓) (橋本雅:飛龍太鼓)
18:05	⑨ 食飲研修体験発表	(井川秀:振興連会計)
18:20	⑩ 団結ガンパロー	(川崎悦:振興連会長)
18:23	⑪ 閉会のことば	(中馬英)

第2回校時表(図8)

していない世帯から支援要請・苦情が寄せられ、その対応として困っているの、何とか加入率をあげたいということでした。垂水は小学校単位に公民館があり、その地区内にはそれぞれ集落(振興会組織)があり、市から連絡・文書の配布等は直接振興会長へ届けられ、集落の班長さんから各戸へ配布されるようになっていたことを説明し、振興会への加入率はほぼ100%に近いとお答えしました。そしてびっくりした事に、町議会議員の視察もお願いしたいということで、11月5日(火)に議員さん方と事務局の15名の方が視察に来られました。前回と違った対応は、来られる方が川南町の町会議員さん方である事から、市役所からも、市民相談サービス課の課長さんを増員し、垂水市の市議会副議長さんに校区の役員を兼務する立場で参加してもらいました。区長さん方にしても、町議会の議員さん方もどうにかして川南町を変えて、役場と住民が一体化したいという、しっかりつながった仕組みを確立したいという強い気持ちがあられたように思います。これも、生活笑楽校を機会にして、川南町役場の河野さんとの結びつきが

縁でこういう視察の受け入れになったと思います。その後、平成26年より、川南町は、小学校単位の公民館、小学校区単位の地域づくりが始められたというようにお聞きしました。最初は、町役場も地域住民の方も課題があるかもしれませんが、よりよい形に落ち着いていく事を願いたいと思います(写真8)。



川南町議会議員の視察の受け入れ(写真8)

## ○生活笑楽校の運営のための必要経費は

第1回ではふれませんでした、この生活笑楽校を開催するには、経費が必要です。参加される方が料理を持ち寄り、飲み物を持ってきて食べて、飲んで語ってという感じですが、案内のチラシ作成(印刷)、写真を撮って印刷して配る。料理のレシピを作成し、皆さんに紹介する。会場に掲示物を貼る等、細かい経費が必要になってきます。この必要な経費につきましては、最初に述べた「地域づくり計画」を実施していく中で10年間にわたって、ハード面は上限70万円、ソフト面は上限30万円の交付金が市の方で交付されます。その交付金を活用するということで、生活笑楽校に必要な経費を活用させてもらっています。これらに関しても、企画課の担当の方々、大変お世話になっており、市が進めている、地域づくり計画の推進の一環ということでご協力頂いている所です。

## (5) 第3回 生活笑楽校の開催

### ① 新事業の導入

平成26年度が始まる時に、市企画課より、今年度、水

之上地区公民館に対して、「過疎集落等自立再生対策事業」が導入されることが決ったと連絡に来て下さいました。総額 1,000 万円の国の補助事業として実施されるということになり、水之上を活性化し、住民の安心・安全な生活ができる地域づくりにつなげる事業として、「水之上生活笑楽校」の実施もその中の 1 つでした。

校区の大きな行事であります、「女男河原祭り」(おんだんこ祭り)も祭りを案内する看板を 2 つ作成したり、祭りの時には演芸大会を実施しますが、その舞台に屋根を取り付ける工事も取り入れられました。これまでは、桜島の降灰があると吹奏楽の楽器の故障の原因になるということで、陸上自衛隊国分駐屯地の吹奏楽団も、地元中学校の吹奏楽団も野外の舞台で演奏できずに、会場内にある体育館の中で演奏したことも数回ありました。他にも、いくつもの事業が実施されるようになりました(図 9)。



国の事業(図 9)

## ② 第3回目の生活笑楽校の時期について

1 回目は 1 月 20 日、2 回目は 12 月 15 日といずれも冬の開催となりましたので、第 3 回目は、時期を変更してみたらと考えました。川南町の「四季を食べる会」を少し参考にした考えからです。春、夏、と季節を変えると料理の材料が変わり、新しい楽しみがあるのではないかと思います。地区公民館としましては、4 月は猛そう竹の竹の子がたくさん採れるので、これも見逃せない材料と思うのですが、4 月は第 1 日曜日に「女男河原祭り」という一大行事を実施する事から、なかなか実施は困難と思われます。

又、年度始めということで、公民館総会も重なることが考えられます。そこで、9 月の実施という案ができました。しかし、9 月も他の行事が毎週続くような行事の多い月です。10 月も同様、なかなか行事を計画できません。

そこで、14 日は敬老の日との連休、18 日は小学校と公民館の合同運動会でギリギリ、21 日(日)を設定することにしました。案の上、20 日(土)は一週間おくれの花火大会、21 日はハンヤ踊りの行事が組まれ、ダブルで参加出来ない活発な女性の方々が数名おられました。

## ③ 開催に向けてのチラシの全戸配布

今回も今まで通り、校区内 660 世帯には案内のチラシ(カラー刷り)を全戸配布致しました。校区の皆さんに案内し、参加を呼び掛けるのはもちろん、このような行事をして地区を盛り上げるよう、まとまりを作れるように、取り組んでいる事を知ってほしいと思いました。校区内の多くの人に主旨を理解してもらうのは難しい事と考えてはいますが、校区内への全戸配布がどれ位効果があるのか、疑問に思うこともあります(図 10)。

## ④ 第3回目の開催

今回は、行事が毎週続く中で、又、行事のぶつかりで、参加者がどうか、気になるというところでした。第 3 回目での特徴は、材料の出品に公民館講座の男性料理教室(講座生 10 名)から、今まで習った料理を出品しようということになり、4 名の方が出品され、テーブルの上にコーナーを設け、展示しました。又、会場の料理を並べるテーブル(四角の長机)の他に、直径 90 cm の丸テーブルにクロスをかけて、その周囲に 5 つずつイスを並べてみました。そのテーブルに料理をのせて、テーブルを囲んで語る場を作ってみました。



第3回チラシ (図 10)

3つ目に、会の流れ(校時表)を大きな紙に書いて掲示しました。それと、会の各係に学校の職名を用いて、校長先生、教務主任、研修主任等の名前で、各係の役目を担当してもらいました。生活笑楽校長のあいさつは前回同様、校時表の説明とその狙いを教務主任(振興連会長)からしてもらい、会の本番である「飲み、食べ、語る」の時間になりました。

開会前に心配した通り、参加は前回より少なく、料理の持ち寄りも少し少なかったようです。途中で、テーブルでの語り合いの様子を紹介してもらったりして、ジャンケンゲームになりました。景品も前回までと同じように、各地名産の焼酎やワイン、みかんやブドウ、徳之島産の黒砂糖等、色々な景品で始まり、ジャンケンの担当に小学生の女の子になってもらい、会場も盛り上がりました(写真9)。終わりが近づき、最後に千本イチョウの中馬吉昭さん、京都から垂水に移住されてきた矢野さん、元々垂水の出身(中学校までは垂水小)で大阪に移られ、外国で長いこと仕事をされ、今度地区内に家を新築されている橋之口さんにい



第3回水之上笑楽校(写真9)

ろいろ思いや感想を聞かせてもらいました。最後に水之上笑楽校応援団の川畑敏さんに一本締めで会を締めてもらいました。企画課の協力で会場で撮った写真を会場で焼き増して、本人に自由に受け取ってもらう仕組みも工夫してもらいました。撮った写真全部はできませんでしたが、できている写真はほとんど持って帰ってもらえたそうです。

1回目、2回目は会名を大きく、横幕を印刷してもらっていましたが、今回は旗を作る専門店で、幅50cm、横の長さ3mの幕を新調しました。次回からは、第何回目の回数を書き入れるだけですぐに掲示ができます。会場もテーブル、テーブルクロス、横幕と備え、だいぶ雰囲気も1回と違って整ってきました(写真10)。



第3回水之上生活笑楽校(写真10)

## ○ 最後に

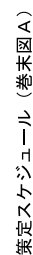
現在、地区公民館では「地域づくり計画」の推進と同じように、「住みよい水之上づくり」を目指して、振興連による月1回、第1日曜日を基本に「草払いボランティア」を実施して、校区内を少しでも住みやすい地区にしようとして頑張っています。他にフラワーロードづくりで、コスモスを産業振興部や小学校の「緑の少年団」と一緒に活動したり、26年度の「過疎集落等自立再生対策事業」でフラワーロードの拡大ということで、校区の広い田んぼの真ん中を通る浜平・大都線の直進道路の両側に菜種を植える取り組みを進める（26年秋には2.4ha）等、少しずつ、確実に変わりつつあります。これが三和づくりにつながり、校区住民が「住みよい、水之上」を実感できるように、できる人ができることを取り組み、校区の皆さんの理解を広め、思いを活動に結び付けていきたいと思います。高齢化が進む中ではありますが、「力を合わせ 行動を起こそう 住みよい水之上を目指して」のテーマの下、取組を進めていきます。（写真 11）

水之上生活笑楽校で、校区の和をつくり、盛り上がりを広め、水之上の前進につなげていきたいと思います。最後




フラワーロード（写真 11）

に、生活笑楽校のヒントを与え、指導をしていただいた吉本先生、三和づくりを担当下さった小栗先生、三和づくり計画から、生活笑楽校の開催に向けて熱心に細かく指導・助言を下された企画課の皆さんに感謝し、今後もこの事を忘れることなく、少しずつ前進、確実に前進の気持ちで取り組むことを決意として報告をして、結びとします。




#### 4 「水之上はこうありたい（行動計画）」

キーワード	水之上はこうありたい	だれが ↓ ・地域 ・団体名 ・市 ・県、国	市役所等 関係課	いつ、何をする？		
				前期（1～3年目）	中期（4～6年目）	後期（7～10年目）
森の駅・温泉	<p>自然を活かした森の駅の整備をすすめる 森の駅の年間を通しての積極的な活用 森の駅へのアクセスをどうするか 猿ヶ城の温泉の有効活用をしたい</p>  <p>▲ 平成22年4月にオープンした「猿ヶ城溪谷森の駅たるみず」</p>  <p>▲ 森の駅を活用して開催した第9回「三和づくり計画」策定委員会（平成24年1月17日）</p>	婦人部 地域		<p>特産品の開発・研究</p> <p>体験活動時に年間を通して材料を提供できるような取組（そば・小麦・大豆など）</p> <p>市へ、森の駅から旧キャンプ場までの道路拡張、大野への道の整備を要請する</p> <p>市へ、森の駅へ温泉を引くように要望、整備してもらおう</p>	<p>特産品の販売</p> <p>起業！！</p> <p>グランドゴルフ大会を開催</p>	
		市	<p>商工観光課</p> <p>農林委員会 農林課</p>	<p>H24年度以降多目的広場、イベント時の駐車場を整備する計画の推進</p> <p>旧餅井荘の冷泉を引き込み温泉として活用する計画の推進</p> <p>渓流沿いの遊歩道等、魅力ある本城川、猿ヶ城溪谷の魅力PRIに取り組む</p>		<p>ランウム温泉公衆浴場（湯治場）の整備検討</p> <p>そば・小麦・大豆などを生産する具体的な計画に対し、地元の農業委員に協力を依頼する</p>
教育	校区を挙げて魅力ある地域・学校づくり 猿ヶ城で子どもたちが泳げるようにしたい	小学校 三和センター 地域 小学校		<p>合同運動会の充実 ふれあい活動の推進</p> <p>たるみず学校応援団への協力</p> <p>遊泳に対する生徒、児童への注意喚起</p>	<p>遠層運動会の開催（同窓会）</p> <p>卒業生（水之上出身者）を招待する</p>	
		市	所管課の検討から	監視員を増やす検討、遊泳可能時間を設ける等の検討		

行動計画の抜粋（巻末図B）

#### 4 「水之上はこうありたい（行動計画）」

キーワード	水之上はこうありたい	だれが ↓ ・地域 ・団体名 ・市 ・県、国	市役所等 関係課	いつ、何をする？		
				前期(1～3年目)	中期(4～6年目)	後期(7～10年目)
イベント・教育	各行事等の学校クラブ部活と振興会の連携 小中高生、若い親の地域活動参加 子どもから高齢者まで楽しく参加できるイベントを創る イベントのあり方を考えてみよう	地域  PTA 振興会 育成会 三和センター		地域行事（伝統・スポーツ行事）の何を残すか見直す  学校へ参加を呼びかける  グランドゴルフ大会を開催	地域外からの参加者を増やす手立てを考える 広報活動に力を入れる	後継者の育成
観光史跡	文化財の散策ができるよう環境整備する 今ある観光資源を有効に生かしたい	各振興会 三和センター (教養文化部)  地域		文化財まわりの清掃  水之上の「文化財・観光マップ(集落おさんぽマップ)」を作る 地名の由来を調べ集める	インストラクターの育成・案内	
川	きれいな本城川、井川を取り戻そう ・本城川、井川、嫁女川の水質改善 ・堤防や河川の草木の除去 本城川周辺及び堤防の整備   ▲ 本城川	三和センター  振興連  地域  市  県	土木課 生活環境課 農林課	年1回の草払いボランティアで堤防をきれいに保つ  本城川沿いの道路改修を要望  川の草木除去、除去方法改善について県に要望  管理河川の土砂除去等、計画的な改善に努める  自主的な水質調査を定期的実施する  畜産農家との座談会等で、適正な処理ができるよう指導を行う  川の中の土砂(寄り洲)を取り除いて災害を未然に防止する、管理河川の計画的な改善に努める	環境保全活動を行う	

(巻末図B)

#### 4 「水之上はこうありたい（行動計画）」

キーワード	水之上はこうありたい	だれが ↓ ・地 域 ・団体名 ・市 ・県、国	市役所等 関係課	いつ、何をする？		
				前期（1～3年目）	中期（4～6年目）	後期（7～10年目）
三和センター・環境・川	浜平大都線をフラワーロードにしよう 水之上の良さは自然、菜の花、稲穂や彼岸花が素晴らしいので、花の量を増やし、フラワーロードを整備 地域のシンボル本城川をフラワーロードに	三和センター振興連（子どもたちも一緒）  緑の少年団  振興連土地改良区（水土里サークル）  市	市役所等関係課  農林課 商工観光課  土木課	何を植えるか検討 菜種の種蒔き 季節の花の植付（レンゲ・ひまわり・コスモス等） 第1日曜草払い	コンクールの開催 菜種油の販売	
				花植え		
				フラワーロードの継続、充実		
				種、苗、肥料代の予算化を検討する		
営農	三和営農組合をしっかりと確立したい	営農組合  市  県・振興局	農林課  農政普及課	全体（19集落）を3つに分けて考える 現在機械を持っている方々において、受託を取り組む	組合として機械を取得、作業を受託	さらに受託作業を伸ばす 機械の充実
				要請に応じ支援、事業の紹介を行う		
おんだんこら	女男河原をさらに充実したものにし、後世に残したい	おんだんこら祭り実行委員会  市	社会教育課 商工観光課 総務課	市内の郷土芸能の発表 依頼	公開講座生作品展示 水之上の特産品（ふくれなど）の販売	
				白山祭りのいわれの周知		
				情報収集、広報		

（巻末図B）